

# ハイブリッドカーを 楽しむためのコツ

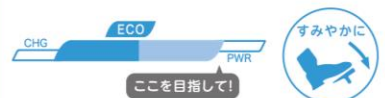
## 1 発進は「ふんわり」

ブレーキペダルから足を離して、最初はゆっくり発進。続いて「ふんわり」とアクセルを踏み、エンジンをかけないEV走行をします。



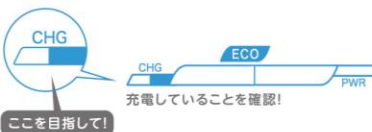
## 2 加速は「すみやかに」

アクセルペダルをやさしく踏んで20km/hくらいまで加速したら、さらにペダルを踏み込んで、目標の速度まですみやかに加速します。



## 4 減速は「早め・ゆるやか」

次の信号の状況を見定めて、早めにアクセルを戻します。ブレーキは緩やかにかけ、長めの距離で減速します。



## 3 通常走行は「じわっと」

目標の速度になったら、いったんアクセルを完全に戻します。その後アクセルを「じわっと」踏んでできるだけエンジンをかけないEV走行をします。



※上記のハイブリッドシステムインジケーターは一例です。車種により異なります。

# タイヤのトラブル!!

～トヨタ純正 タイヤパンク応急修理キットの使い方～

走行中、パンクに気付いたら、ハザードランプを点灯させ、周りの状況に注意しながら、ハンドルをしっかり握りゆっくりと路肩へ車を寄せて停車します。

### トヨタ純正 タイヤパンク 応急修理キット



i  
補足

パンクをした時はJAF又は加入保険のロードサービスを呼ぶのが基本対処法です。タイヤパンク応急修理キットによる応急修理は、一時的な処置の為、できるだけ早くタイヤを修理・交換してください。

1



パンクしたタイヤのバルブからバルブキャップを取り外します。  
ボトルのホースから空気逃がしキャップを取り外します。

2



ボトルのホースをパンクしたタイヤのバルブに接続します。  
ホース先端を時計まわりにまわしてしっかりと最後までねじ込みます。

3



コンプレッサーのスイッチがOFFであることを確認します。

4



コンプレッサーの電源プラグをはずします。

5



コンプレッサーの電源プラグをアクセサリソケットに挿し込みます。

6



速度制限ラベルをはがします。

7



ボトルをコンプレッサーに接続します。  
ボトルをまっすぐコンプレッサーに挿入・接続し、ボトルの突起がケースの溝にしっかりと合っているか確認してください。

8



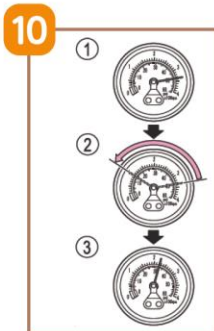
タイヤの空気圧を確認します。運転席側の空気圧ラベルで確認することができます。





9 エンジンを開始します。コンプレッサーのスイッチをONにし、パンク補修液と空気を充填します。

ON



10 空気圧が指定空気圧になるまで充填します。

- ①スイッチON直後はパンク補修液を注入するため、一時的に空気圧計が上昇します。
- ②1分程度で(低温の場合5分程度)実際の空気圧表示になります。
- ③指定空気圧になるまで充填します。

空気圧はコンプレッサーのスイッチをOFFにして確認してください。空気の入れ過ぎに注意して指定空気圧になるまで充填・確認を繰り返してください。

※35分以上充填しても指定空気圧にならない場合は応急修理できませんので、トヨタ販売店へご相談ください。



11 コンプレッサーのスイッチがOFFであることを確認した上で、アクセサリソケットから電源プラグを抜き、バルブから、ボトルのホースを取り外します。



12 バルブキャップを応急修理したタイヤのバルブに取り付けます。



13 ボトルのホース先端に空気逃がしキャップを取り付けます。

※空気逃がしキャップを取り付けないと、パンク補修液が漏れ、お車が汚れる可能性があります。



14

低速!&慎重に!!

いったんボトルとコンプレッサーを接続したままトランク内に収納します。

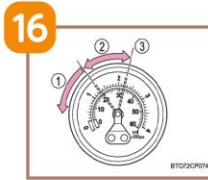
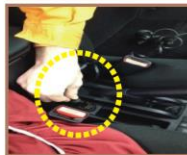
タイヤ内のパンク補修液を均等に広げる為にただちに約5km、安全に走行します。(速度80キロ以下)

空気が漏れていないかを確認するため、再度空気圧のチェックをします。



15

走行後、ボトルのホースから空気逃がしキャップを取りはずし、再度応急修理キットを接続します。



16

コンプレッサーのスイッチを約5秒間ONにし、OFFにして空気圧を確認します。

①空気圧が130kPa未満の場合  
応急修理できません。  
トヨタ販売店へご相談ください。

②空気圧が130kPa以上  
～指定空気圧未満の場合 17へ

③空気圧が指定空気圧の場合 18へ



17

コンプレッサーのスイッチをONにして指定空気圧まで空気を充填し、再度、約5km走行後にあらためて、

15から実施します。

ON



18

ボトルのホース先端に空気逃がしキャップを取り付けます。

ボトルとコンプレッサーを接続したままトランク内に収納します。



19

付属のラベル2枚をそれぞれ写真のように貼り付けます。

※ラベルを取り付けることができない場合、トヨタ販売店にてタイヤを修理・交換時にパンク補修液注入済みであることをお伝えください。



20



!! 注意 低速&慎重に!!

急ブレーキ・急加速・急ハンドルを避け、慎重に速度80キロ以下で運転してトヨタ販売店へ行きます。

i 補足

### 応急修理キットについて

- ・応急修理キットの補修液は使い切りの為、使用後は万が一に備え新品の補修液を必ずご用意ください。
- ・応急修理キットの補修液には有効期限があります。
- ・新品の補修液をお求めの際はトヨタ販売店へお問い合わせください。
- ・液剤がタイヤ内部に入る為、応急修理キット使用後はタイヤ内部の清掃が必要です。

!! 注意

### 応急修理キットでは修理できないパンク

- ・タイヤ空気圧が不十分な状態で走行してタイヤが損傷しているとき
- ・タイヤ側面など、接地面以外に穴や損傷があるとき
- ・タイヤがホイールから明らかにはずれているとき
- ・タイヤに4mm以上の切り傷や刺し傷があるとき
- ・ホイールが破損しているとき
- ・2本以上のタイヤがパンクしているとき
- ・1本のタイヤに2ヶ所以上の切り傷や刺し傷があるとき
- ・補修液の有効期限が切れているとき

上記の場合、  
応急修理キットでは  
応急修理ができません。

トヨタ販売店へ  
ご連絡ください!!